

2018年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ大学

実習期間：8月22日（水）～12月6日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017053

目次

1. 留学先および実習期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学の目的	3
4. 研修内容	3
4-1 研修のスケジュール	4
4-2 研修の詳細	4-5
5. 当初目的・目標への達成度	5
6. 反省・課題	5
謝辞	6

付録

留学日誌	6
------	---

1. 留学先および実習期間

留学先：セントラル・ミズーリ大学

実習期間：平成 30 年 8 月 22 日（水）～12 月 6 日（木）

※帰国は 12 月 7 日（金）

2. 留学先概要

(1) 大学について

カンザスシティから東に約 80 キロのウォレンスバーグにある総合大学であるセントラルミズーリ大学は 1871 年に設立された大学である。150 もの学術プログラムが提供されるキャンパスでは、準学士号、学士号、修士号、教授修士号など幅広い学位を取得することができ、ミズーリ州以外からも全米 43 州、57 カ国からの留学生が集い学んでいる。また、アメリカ有数の航空基地であるホワイマンベースに近いことから航空学が有名で、パイロットを目指す学生が全国から集まっている。1,561 エーカーの広大な敷地を有するキャンパス内には映画館やスポーツジム、スタジアムなどといったさまざまな施設が用意されている。学生は無料で学校にある施設を利用することができる。

(2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学には IEP (Intensive English Program) と呼ばれるものがある。IEP は授業のはじめにクラス分けテストを行い、学力別に分かれて少人数で授業を受ける。本学の派遣留学生はこのプログラムを受講し、リーディング、リスニング、文法、コミュニケーションスキルを学んだ。またその他にアメリカの歴史・文化、英語の発音、TOEIC 対策の授業も行われた。留学中の成績は本学の単位として換算される。

3. 留学の目的

今回の研修の個人的な 1 番の目的は英会話能力の向上である。英語で会話をしなければいけない環境におかれることで自然と英会話能力が身につくのではないかと考えた。またネイティブスピーカーの発音を毎日聞くことによって英語の発音の能力が上がると考えられた。これらのことから、英会話能力と英語の発音の向上を目標とした。また、アメリカの文化を学びたいと考え、日本ではできないような体験をたくさんし、アメリカと日本の文化の違いを感じてくることを今回の留学の目的とした。

4. 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	内容
8	22(水)	到着
	23(木)	オリエンテーション
	24(金)	クラス分けテスト
	27(月)	前期授業開始
9	6(木)	アメフト観戦
	14(金)	ゴルフ・カンザスシティショッピング
10	2(火)	期末テスト
	3(水)	期末テスト
	27(土)	ホームカミングパレード
11	4(日)	フードショー
	17(金)~25(日)	サンクスギビングブレイク
12	3(月)	期末テスト・TOEIC
	4(火)	期末テスト
	5(水)	修了式
	6(木)	アメリカ出発
	7(金)	帰国

4-2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)オリエンテーション

予防接種や採血をしてもらったり学生証の写真撮影をした。

ii)アメフト観戦

大学内にあるスタジアムでアメフトの試合を観戦した。本学の学生は無料で試合を観戦することができた。チアリーダーのパフォーマンスも見ることができ、本格的な試合であった。

iii)ゴルフ・カンザスシティショッピング

ゴルフ場に行き、同じ留学生とともにゴルフを楽しんだ。ゴルフ場にはbuffet形式の食事を用意されていた。その後ショッピングモールに行き、各自でショッピングを楽しんだ。カンザスシティまでは現地の先生方が送迎をしてくれ、この外出は本学のプログラムに含まれていたため無料でゴルフを体験することができた。

iv)ホームカミングパレード

セントラルミズーリ大学に在学している各国の留学生がそれぞれの国の旗を持ってウォレンズバーグの街を歩くパレードである。本学の学生は日本の伝統衣装である浴衣や甚平を着てこのパレードに参加した。

vi)サンクスギビングブレイク

サンクスギビングとはアメリカの感謝祭のことである。本学の学生はアメリカ人のお宅にお邪魔して夕食を頂いたり、各自で計画をして旅行に行ったりして過ごした。

vii)修了式

学期終わりの式で卒業式のようなものであった。一人一人に修了証が授与された。IEPクラスで一緒に過ごしてきた仲間との最後の行事であった。

5.当初目的・目標への達成度

今回の研修の目標の達成度についてそれぞれまとめる。

i)英会話能力の向上

アメリカ留学中ではあったものの日本人の仲間が多かったため日本語で話していることも多かった。しかし、授業中や学校時間外で他の留学生やセントラルミズーリ大学の学生ともコミュニケーションをとるように努力した。また、わからないことがあったらすぐに現地の先生方に質問するように心がけた。これらのことを実践したことから、英会話能力が向上したと感じた。

ii)英語の発音の向上

授業でも英語の発音や口の動きを改善するものがあり、英語の発音をするときの口の動きにも意識することができ、学ぶことができた。英語の発音をするときの口の動きを苦手としていたため、徹底的に直す機会があり、自分がどのくらいできていないのかに気付くことができたため、とてもいい機会であった。以前よりも発音が良くなったと感じられた。

6. 反省・課題

今回の留学を通して、個人的な課題としては日本にいる時でも英語に触れる時間をつくるべきであると感じた。3ヶ月半ほど留学をしてもまだまだ足りないところが多いと感じた。希望としては例えばアメリカ人のお宅でホームステイをする期間があるなどもっとアメリカ人と交流できる機会ができるとより有効な留学期間になるのではないかと考えた。

謝辞

今回の派遣留学にご協力して下さった全ての皆様に心から感謝いたします。重ねて、新潟国際情報大学から頂いた奨学金のおかげで有意義な留学生活を送ることができ、無事に帰国できたことに心から感謝いたします。

付録：留学日誌

8月22日（水）成田空港から出発

・所感

成田空港周辺のホテルで前泊してから出発した。出発前日は空港内にあるレストランでしばらく食べれなくなるであろう日本食を堪能した。出発当日になってもアメリカに行く実感は沸かなかつたが、前日から眠れなかつた。飛行機の中でも眠りに付けず映画を観たり、ゲームをしたりしていた。

8月23日（木）オリエンテーション

・所感

学生IDの作成やパソコンを借りる申し出を前からしていたので、その日に借りることができた。またバスで近くのウォルマートというところに行き、生活していく上で必要なものを買うことができ、とても便利だった。

8月27日（月）学校初日

・所感

先生の言っていることへの理解に苦しんだ。もうすでに授業が進んでいたため、焦りを感じた。また課題の多さに驚きを隠せなく、不安になった。

9月6日（木）アメフト観戦

・所感

開幕戦で、学校全体がお祭りのようであった。出店がたくさんあり、無料で楽しめるものばかりだった。フェイスペイントをしてもらったり、お土産ももらえた。開幕戦は見事勝ち、盛り上がる試合で圧倒された。



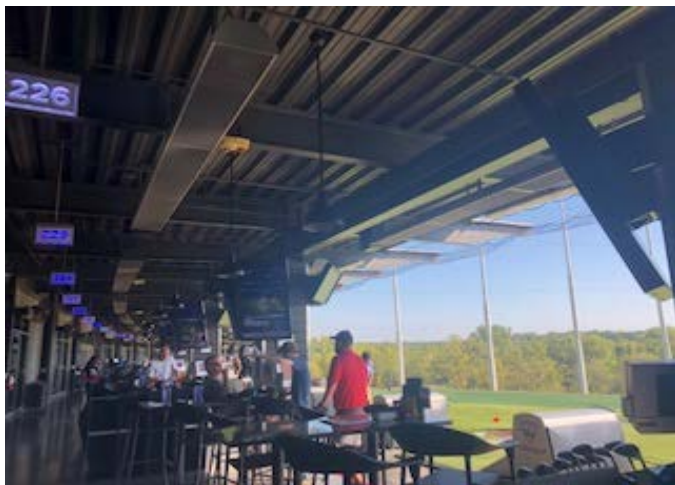
9月8日（土） レトロゲームセンター



・所感

レトロゲームのイベントが開催されていた。レトロゲームがたくさん学校の体育館においてあり、有料ではあったが楽しめた。アメリカにもコスプレイヤーがいて本格的でかっこよかった。

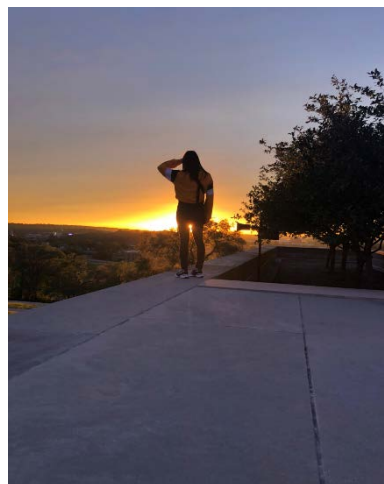
9月14日（金） トップゴルフ・カンザスシティショッピング



・所感

人生で初めてゴルフをしたが、難しく上手くボールを飛ばすことができなかった。その後ショッピングモールに行き、各自でショッピングを楽しんだ。日本で手に入らなかったものも売っていていい買い物ができる。

9月21日（金） トゥルーマン大統領の博物館・カンザスシティ散策



・所感

ミズーリ州唯一の大統領であるトゥルーマンの博物館に行ってきた。この人物は、日本とかかわりがあることがわかった。その後買い物をしたり、路面電車に乗ることもできた。最後には夕日が見える高台に行き夕日とともにたくさんの写真を撮ることができた。

10月2日（火）・3日（水） 期末テスト

・所感

プレゼンテーションが1番手で緊張した。ここまでの期間はとても長く感じられた。

10月6日（土） Japanese Festival



・所感

Japanese Festival のボランティアに参加させてもらい、日本の文化や日本の物を紹介した。巫女さんの衣裳を着ておみくじを売った。多くの外国人が日本に興味を持っていることがわかり、うれしい気持ちになった。

10月27日（土） ホームカミングパレード



・所感

日本を代表している気持ちになった。歩いて小さい子供にお菓子を配り、多くの人と触れ合うことができた。歩くたびに浴衣を褒めてくれて嬉しかった。

10月31日(水) ハロウィン



・所感

近くのダウンタウンの街をコスチュームを着て歩き、街の人たちがお菓子をくれた。日本ではなかなかできない体験ができた。

11月1日(木) 映画鑑賞



・所感

学校にある映画館はよく利用していたが、この日アメリカに来て初めて外の映画館で映画を観ることができた。日本ではまだ公開されていない映画も観ることができた。映画は字幕のないものであった。

11月17日（土）～11月25日（日） サンクスギビングブレイク

・ 11月17日（土） アメリカ人のお宅訪問



・ 所感

アメリカ人のお宅に訪問し、夕食を頂いた。家族みんなとても優しく接してくれた。お邪魔させてもらった家には犬2匹とヘビが1匹いて動物とも触れ合うことができた。みんなでカードゲームもし、楽しい時間を過ごすことができた。

・ 11月18日（日） カンザスシティからフロリダへ出発



・ 所感

自分たちだけで飛行機に乗って移動し、さらに乗換をしなければいけないことに不安を感じていたが、無事乗ることができた。フロリダに着くとディズニーの広告がいたるところにあり、すでにディズニーを感じられた。Uber という一般の人が送迎してくれるシステムを利用し、空港とホテル、ホテルとテーマパーク間を移動した。ホテルの人も明るく親切な人ばかりだったので安心した。

・ 11月19日（月）～22日（木） ディズニーワールド

1日目 Epcot



・所感

Epcot は世界各国をイメージしたエリアがあり、世界一周した気分になることができた。

2日目 Hollywood Studio



・所感

日本にないトイストーリーのエリアもあった。夜景が綺麗だった。ショー専用ステージがあり、圧巻だった。

3日目 Animal Kingdom



・所感

動物園のようで、園内には様々な種類の動物がいた。中でもアバターのアトラクションは最先端の技術が使われており、映像も綺麗で感動した。

4日目 Magic Kingdom



・所感

ディズニーワールドの王道のエリアであるマジックキングダム中央には大きなシンデレラ城がそびえ立っていた。夜になるとライトアップされ、今までに見たことのないくらい綺麗で見とれるほどだった。つくりは東京ディズニーランドと似ているものであった。夜のシンデレラ城のプロジェクトンマッピングのショーは涙が出るほど感動した。

・ 11月23日（金） ユニバーサルスタジオ



・所感

2パークにわかれていてとても広かった。パーク間の移動はハリポッターに出てくる鉄道で移動した。待ち時間も短かったため1日でも2パークを楽しむことができた。

11月30日（金） 美術館・ショッピング



・所感

思ったよりも広い美術館であったため全部を見て回るには時間が足りなかった。カンザスシティの道路を眺めていたら、道路に馬車が走っていて驚いた。カンザスシティでの最後のショッピングは欲しい物が買えて、充実したものとなった。

12月5日(水) 修了式



・所感

一人一人に修了証が先生方から渡された。クラスメイトや先生方と記念撮影をし、別れを惜しみ、式はあっという間に終わった。